



H A I
KEI
SHIN
BUN

発行日 平成16年5月1日
発行 社会福祉法人 和敬会
〒441-1318 愛知県新城市
八東徳字天王1032番地02
TEL (0536)22-0760
<http://www.wakyokai.or.jp/>

●この広報誌は地球にやさしい再生紙を使用しています。



地域密着 多機能施設をめざして！

社会福祉法人和敬会 理事長 太田 一平

平成十六年度厚生労働省児童福祉施設関係予算は、児童虐待への対応関係予算が大幅に増額され前年度の48億円から116億円へととなりました。そもそも、日本という国は次世代を担う子どもたちへは、お金をかけてこなかった国であります。児童虐待が急増しもはや猶予できない事態となり少しだけ手が差し伸べられるようになりました。また平成16年度の国の新規事業としては、「小規模グループケア」の実施があります。小規模グループケアは、「小舎制」養護のあり方を国の施策としたことに大きな意義があります。全国の児童養護施設550箇所のうち3割程でしかなかった「小

舎制」養護形態が今後は、国の施策として推進されることになりました。

二番目には虐待で親子分離をした後の家族再構築を家庭支援専門相談員が行っていくこととなりました。八楽児童寮では副寮長の太田和泉がその任にあたります。三番目に被虐待児受入加算の創設であります。被虐待児の増加に伴い、専門職員の配置等施設のニーズに応じたより一層の処遇体制の充実を図ることが目的とされています。

八楽児童寮は、これらの施策に積極的に取り組み専門的社會資源としての役割を果たすとともに地域密着型多機能施設をめざします。

IPCワンワン動物園…アニマルセラピー チワワにミニチュアダックスフンドで癒しの時間



ふれあいホールに集まったお年寄りの皆さんが満面の笑顔を浮かべチワワやミニチュアダックスフンドなどを抱きかかえています。頭をなでている方、小脇に抱えている方、餌を与える方、思い思いに犬と一緒に癒しの時間を楽しまれています。そのときのお年寄りの表情はとても穏やか。和やか。2〜3ヶ月に1度IPCわんわん動物園の訪問があり、何十頭もの犬と学生がまどかの郷を訪れます。いまや日本は空前のペットブームですが、犬はとても人の心を癒してくれます。犬とお年寄りのふれあいを眺めながら学生もまた何か得るものを感じるものがあるようです。

学生のコメント

柴知里さん(20歳)

犬も人も病気のときは周りの人がとても気を使います。気配りの大切さをことうした機会に学びました。ふれあいのなかで会話が弾むのが楽しみです。

斉木伸恵さん(20歳)

お年寄りが犬と関わることで何事にも意欲が生まれるのいいと思います。そんな期待を込めながらまどかの郷におじゃましています。

牧内智加さん(20歳)

犬に慣れてくるとみんな笑顔になるのがとても嬉しいです。やりがいをもっているまどかの郷に来ます。



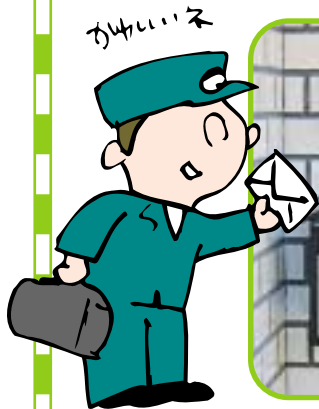
八楽児童だより

郵便屋さんいらっしやい!

児童指導員 長根裕一

八楽児童寮に送られてくる手紙は今まで事務所に一括して届けられていました。しかし、「郵便物は普通、家に届けられるもの。」という子どもの声により、今年の1月から郵便物が各家に届くようになりました。そこで郵便屋さんが困らない様に各家の個性を活かし、表札を作ることにしました。ある家は彫刻刀でその家の名前を木材に彫り表札を作りました。また、ある家はポストを制作し、表札兼ポストを完成させていました。

子どもたちも「これで郵便屋さん迷わずに手紙を運んでくれるね」とよろこんでおります。郵便屋さん、私たちの手紙待ってます。



私の原点…

傷つきを癒すもの

セラピスト
熊谷 多希子

私は、10代の頃から人の心の傷を癒すものは何なのだろうということに強い関心がありました。子どもたちの傷つきを癒していくのに必要なものは何なのでしょう?

傷つけられた体験は「不安」を過剰に生み出してしまうかのようにです。子どもたちはプレイルーム(治療室)で様々な「不安」からくると考えられる言動を表現してきます。それは時に攻撃的であったり無気力であったりします。

こうした「不安」を鎮めるためには、「不安」の対極にあるものが最も有効ではないかと考えられ、私はそれは「愛」や「思いやり」ではないかと思うのです。繰り返しあやされたりなだめられたり、解決方法を導かれることにより、子どもたちは不安に翻弄されず、自身で不安という感情をコントロールしていくことを学べるでしょう。

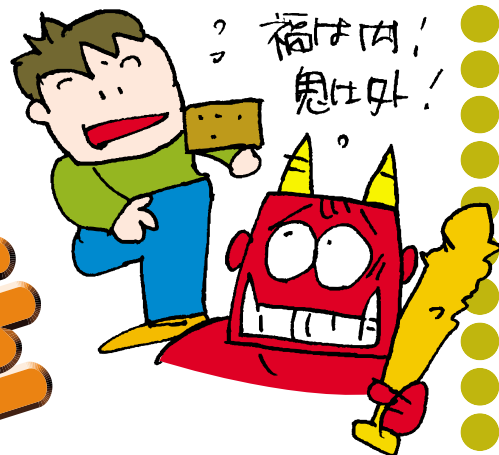
思えば、私自身も多くの方々に受けとめてもらい、やり方を教えてもらいながらこの道を通らせてもらってきています。人に気持ちを受け止めてもらう・受け止めてあげることのこの上ない大切さを実感する毎日です。





豆まき

児童指導員
長 根 裕 一



「鬼は外。福は内」。今年も2月3日の節分の日に大きな声がこだましてきました。年男年女の子どもたちが手作りの袴を作り、威勢良く豆をまき鬼退治をしてくれました。今年の節分では巻き寿司の丸かじりも行いました。節分に巻き寿司を食べる理由は、太い巻き寿司をラッパを吹くようにくわえて恵方に向かつて私語を交えずに丸ごと食べると、1年間良いことがあるからだそうです。また、巻き寿司を使う理由は「福を巻き込む」からで、また、丸ごと食べるのは「縁を切らないために包丁を入れない」という事だそうです。

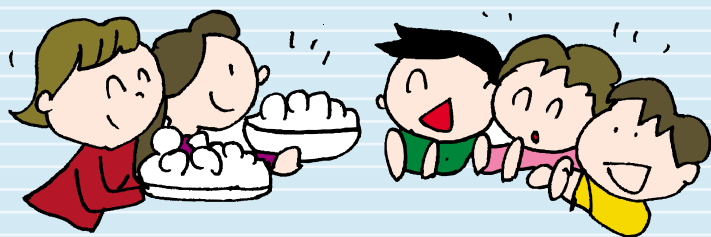
各家で子どもたちが自分で巻きずしを作り、東北東を見ながら「良いことがありますように」と心の中で呟きながら黙々と巻きずしを食べていました。ある家では夕食の時間に遅れた古宮児童指導員が一人巻きずしを食べっていると、小6のM子が鼻の穴に指をつっこんで笑わせていました。

すっかり豆まきをしたことで、良き一年になることを実感しています。

地域ぐるみで子育てを

児童指導員 萬 木 久 弥

——新城市民生児童委員協議会の慰問——



3月3日のひな祭りの日、新城市民生児童委員協議会の方々27名が子ども達のために何かお役に立てることがあれば、お手伝いしたいと来察されて、子ども達の生活している家のドアの修繕や植木の剪定・家庭菜園の整備の他、夕食のちらし寿司と蛤のお吸い物の調理などの、ボランティア活動をして頂きました。

職員も一緒にお手伝いし、作業の技術面のことだけではなく、子育てのことについてもいろいろとお話を聞かせてもらう良い機会になりました。地域社会の中で、多くの人が協力しあいながら子どもを育てていくことの大事さと温かさを再認識することができました。

夕食はひな飾りを眺めながら、子ども達と楽しくちらし寿司を頂きました。

平成16年度医療スタッフが替わりました

嘱託医師・産業医師等医療スタッフ紹介

まどかの郷
だより

平成16年度を迎え、まどかの郷の医療体制が替わりました。

まどかの郷には嘱託医師・管理医師・産業医師を法定配置することが義務付けられていますが、新しい先生をお迎えしてのスタートです。

- ○嘱託医師が替わりました。従前は日高恵一嘱託医師(日高医院長)でしたが、4月から神谷文雅嘱託医師(幸田中央クリニック院長)に替わりました。よろしくをお願いします。
- ○管理医師は日高恵一嘱託医師(日高医院長)が就任されました。これまでの嘱託医師のご経験を生かしてご指導いただきます。
- ○1月からまどかの郷の産業医師として就任していただいたのが石田正人産業医師(うえじ耳鼻咽喉科院長)です。まどかの郷で働く職員の健康管理を行っていただきます。
- ○幸田町内にある岡田病院から派遣していただいている精神科医師の山本奈穂先生です。老人性痴呆症の入所者が多くなったいま、とても大切な役割・使命を任じていただいています。



産業医師
石田 正人

これまでの地域環境、住環境、生活習慣の中での疾患を考えてきましたが、大切な職場環境が抜けていました。
職場環境は就業中の健康はもとより住環境、生活習慣にも影響します。たとえば職場の温度管理。職場の室温を26度に設定したとすると、帰宅のとき駐車場までの寒風は身にこたえ、車のエアコンの温度を上げます。今度は車から玄関へ、「体感温度」は冷凍サバ状態。屋内に入ると急速解凍のためエアコンの温度調節に凍った手がのびます。エアコン、ホットカーペット、コタツ、○○ファンヒーターに床全体をホットプレートに！暖房器具から出る高温のガスは強い毒性を持っています。当然「家族」の呼吸器粘膜は障害され感染症など呼吸器疾患を繰り返します。その上、高温の空気は乾燥していても多量の水分を含み、冷える夜間に結露しカビ、ダニが繁殖します。屋外との温度差が増すと換気をしなくなり室内空気は暖房、炊事などの排気ガスや化粧品、建材などの化学物質の濃度が高くなります。その他メンタルヘルス、腰痛、感染症、生活リズムのことなど知恵を出し合ひましょう。



精神科医師
山本 奈穂

平成15年8月より、就任しました山本です。まどかの郷では痴呆症の方を中心に、うつ病、総合失調症や不眠症の方等を担当させて頂いております。月2回の往診ですので、その間の入所者の方の御様子を教えて下さると大変有り難いです。至らないところもあるかと思いますが、御指摘をお願いします。いつもスタッフの方は、入所者の方の生活をより快適に、と頑張られているなあと感じています。そのお手伝いを少しでもできれば、と考えています。



管理医師
日高 恵一

まどかの郷の「管理医師」を平成16年度から拝命されました。まどかの郷では、5年間嘱託医師として関わってきた経験がありますが今年度からは「管理医師」という立場で、今までは少し違う観点からまどかの郷のお年寄りを見守っていくことになると思います。
管理医師としての責務・役割等について少々戸惑いもありますが、一から勉強するつもりで取り組んでいきたいと思ひます。
どうぞよろしくお願い致します。



嘱託医師
神谷 文雅

このたび「まどかの郷」の嘱託医としてお世話になります幸田中央クリニックの神谷文雅といいます。「かみやふみただ」と読みます。よろしくお願ひいたします。生まれたのは安城市で、育ったのは岡崎市若松町、南公園の近くです。平成13年4月に幸田町高力(北部中学校の北西隣)に開業しました。専門は内科で特に糖尿病を中心とした生活習慣病です。肥満、糖尿病、高脂血症、高血圧などですが、おそらく入所されている方や、ショートステイやデイサービスでおこしの方の中にもたくさんおみえではないでしょうか。
さて、わたしもだんだん年をとつてまいりまして毎日鏡を見るたびに白髪が気になってきました。これから先どうやって生きていこうかなどと考えたりします。これから皆様方やスタッフの皆さんに教えていただきながら楽しく、しっかりと過ごしたいと思ひますのでよろしくご指導・鞭撻をお願いいたします。

まどかの郷苦情受付担当者

まどかの郷では、社会福祉法第82条の規定により、利用者からの苦情に適切に対応するために、苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を設置し苦情解決に努めておりますが、このたび苦情受付担当者を一新しましたのでご紹介します。
また、第三者委員の電話番号等連絡先もあわせお知らせします。

苦情解決責任者	太田 二郎(まどかの郷施設長)
苦情受付担当者	大久保 茂(まどかの郷総務主任)
	鈴木 芳子(まどかの郷看護師長)
	今泉 太(まどかの郷主任生活相談員)
	池田 恵子(まどかの郷管理栄養士)
	鳥居 知宏(まどかの郷在宅主任)
	内藤 鈴佳(まどかの郷支援センター・ソーシャルワーカー)
	田所 貴行(まどかの郷介護支援専門員)
	近藤 明城(まどかの郷福祉用具専門相談員)
	杉山多恵子(まどかの郷サービス提供責任者)
第三者委員	伊吹 舞(ケアハウスまどか生活相談員)
	杉浦 力雄 TEL.0564-62-0885
	山科 知瑞 TEL.0564-62-5193



新・評議員
日 高 恵 一



旧・評議員
石 田 正 人

社会福祉法人和敬会は、3月29日開催の理事・評議員会において、石田正人評議員から提出のあった退任届けを受理し、後任に日高恵一氏の評議員就任が承認されました。これはまどかの郷の管理医師交代によるもので任期は石田正人評議員の残任期間です。

在宅高齢者の皆さんが狙われています！

- 「おれおれ詐欺」に要注意！
- 騙されてはいけません！
- 被害者の孫・息子可愛さの心理を利用した、悪質な手口の犯行です！



電話で、孫や姪などになりすまし、お金をだまし取る「おれおれ詐欺」が全国的に多発しています。これは被害者の孫・息子可愛さの心理を利用した、悪質な手口の犯行です！愛知県下でも昨年1年間に341件(うち未遂が162件)もの事件がありました。

もしも「おれおれだけど・・・」と電話がかかってきたら・・・

①「おれって誰だ」と聞き返すこと！

※こちらから「〇〇ちゃんか」と決して名前を言わないで、先方に名前を言わせること。

②先方の言った名前が子や孫と同じであっても、電話が終わったあと直ぐにはお金を振り込まないこと。

※話の事実関係(交通事故やトラブル)を家族や他の親族、または電話をかけたと思われる子や孫に確認をすること。

相手の言動におかしな点が感じられたら、まず第一に警察に相談しましょう。
次に被害に遭うのはあなたかも知れません。お金を振り込んでからでは取り返しがつきません。十分注意してください。

「サークル平和」の ミッション!

痴呆症による暴力行為の対策予防を考えよう

その成果を民老協QCサークル大会で発表

皆さんは、「QC活動」をご存知ですか？製造業等に從事された経験のある方ならおわかりいただけると思うのですが、正直、福祉の世界ではあまり馴染みがありませんでした。しかし、ここ数年のあいだに福祉施設でもサービスの質を向上させるための業務改善活動としてこのQC活動に力を入れる施設が多くなりました。

QC活動というのは、業務改善を管理・推進・指導・統括していくために必要な知識や技術のことであり、まどかの郷でもここ数年前からQC手法を採用入れた職場改善活動を行っています。去る2月6日にはその成果を愛知県民間老人福祉施設大会QC発表会で披露しました。それでは、まどかの郷の「サークル平和」の発表をご紹介します。



入所者の暴力行為をなくそう

テーマ選定理由

まどかの郷では様々な痴呆症状をもった方も多く生活されています。時として、痴呆症状の重い方は暴れたり暴力的な行動がみられる方もいます。こうした入所者の暴力行為を少しでも軽減しようと取り組みました。

本テーマの活動期間(3ヶ月)
本テーマの会合回数(10回)
会合時間(1回30分)・その都度必要にて開催。

今回の活動に関する施設長のコメント

1 活動が与えた施設への効果

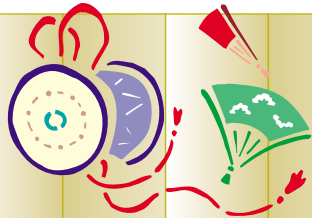
施設は入所者にとって何より安心で安全な場所であればならない。しかし、入所者の中には、痴呆症状の一つとして暴力行為のある者もいる。こうした本人の抱える問題をQC技法を用いて対処することは、いささか見当違いのような気もしたが、現場職員の切実なる問題解決の為、あえて取り上げたことが何よりの挑戦である。

2 実践者(サークル)に一言

入所者の安全を確保することは当然であるが、さらに安心を得ようとした取り組みが評価できる。
まどかの郷のモチーフは【まどか】。和の社会を大切にしていこう!!

活動結果

- ・ゼロには至らないまでも暴力行為の軽減につながった。
- ・部屋の住環境の整備で本人が居室ですごされる時間が多くなった。(余暇の充実)
- ・役割を持っていた中で、生活にハリを持つ事ができた。(今では率先して取り組まれます。)
- ・ケアプランでも記載し、家族にも説明承諾した。
- ・QC活動とケアプラン活動を一体化することができた。
- ・全職員が真剣に取り組むことができた。



伝承を継承する 子供たちに拍手喝さい!



幸田町立中央小学校三河萬歳こいのが訪問



「いよー鶴は千年、亀は万年…」で、始まる無形文化財の三河萬歳。この伝統芸能を地元幸田町立中央小学校の「三河萬歳クラブ」の皆さんが見事なまでに引き継いでいます。

学校で、毎週1回幸田町三河萬歳保存会（会長・塩谷篤家）の皆さんの指導を受けての練習。その成果を年に1度まどかの郷で披露してくれます。

今年は3月3日ひな祭りの日に6名のクラブ員が来郷し、おめでたい御殿萬歳をふれあいホール舞台で披露してくれました。

小沢未央（6年生）部長の話
ちよつと緊張したけど一生懸命できました。まどかの郷の皆さんが真剣に観てくれたのでとてもやりがいがありました。楽しそうでもとてもよかったと思います。

杉山ポーターリーたまご寄付



本当にコツコツと…無理をせず…きちんきちんと…。新鮮なたまごを届けていただいて早7年。まもなく延べ50回目の寄付を数えます。ほぼ2ヶ月に1回杉山ポーターリー様から届けられる新鮮なたまごを使って厨房では卵料理が調理されます。素材がいいだけに調理員さんも自慢の腕をふるいます。いまでは、まどかの郷だけではなく、八楽児童寮にも杉山ポーターリー様からたまごを届けていただいています。

何かと養鶏・鶏卵業者の皆さんには厳しい社会情勢ではありますが、心温まる寄付に感謝申し上げます。

昨年、50周年記念事業では杉山ポーターリー様に感謝状を贈呈させていただきました。

